



浮羽中学校通信

自ら気づき、判断し、行動できる生徒の育成

【重点目標】～自信をもって何事にも取り組む生徒の育成～

うきは市立浮羽中学校

第 5 号

令和7年7月4日 発行

文責 校長 竹並俊和

中体連大会、健闘を称える！

6月21日(土)、22日(日)に開催されたうきは市・小郡市三井郡中体連総合体育大会では、三年生にとっては最後の大会として、各会場で熱戦が繰り広げられました。選手の皆さんのひたむきな姿に、胸を打たれた二日間でした。

優勝旗を手にしたチーム、惜しくも涙をのんだチーム、結果はそれぞれですが、どの競技においても、最後まで諦めない粘り強い戦いを見せてくれました。日々の練習で培った力が存分に発揮され、一つ一つのプレーに皆さんの努力と情熱が感じられました。今回の大会で、筑後地区大会へと駒を進めるチームがある一方で、このブロック大会が3年生にとって最後の大会となったチームもあります。3年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。部活動を通して得た経験は、今後の人生において必ず皆さんの力となります。勝敗だけではなく、仲間と共に目標に向かって努力したこと、喜びを分かち合ったこと、悔しさを乗り越えたこと、その全てが皆さんの貴重な財産です。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今大会につきましても、会場での温かいご声援が選手の大きな力となりました。本当にありがとうございました。今回の大会で得た経験を胸に、今後もそれぞれの目標に向かって精進していくことを期待しています。そして、3年生の皆さんは、部活動で培った力を、今度は受験勉強や進路実現に向けて発揮してくれることを願っています。

今年の中体連総合体育大会結果を報告します。

【うきは市小郡市三井郡中学校総合体育大会（6月21日・22日分）結果、福岡県空手道大会（6月21日）結果、筑後地区陸上競技大会（6月18日結果）】

部 名	結 果	部 名	結 果
ソフトテニス男子	団体戦 準優勝（地区大会へ） 個人戦 3位 中原・ハ尋ペア、 佐伯・伊藤ペア（地区大会へ）	卓球女子	団体戦・個人戦 惜敗
ソフトテニス女子	団体戦予選リーグ惜敗 個人戦惜敗	柔 道	男子団体準優勝（地区大会へ）
サッカー	予選リーグ惜敗	男 女	個人優 勝 井上 鈴太(地区大会へ) 準優勝 井上 遥太(地区大会へ) 優 勝 山手 潤音(地区大会へ)
バレーボール	決勝トーナメント1回戦惜敗	剣 道	女子 団体戦 3位（地区大会へ）
野 球	準決勝惜敗	男 女	男子 団体戦 3位（地区大会へ） 個人戦 3位 立石 強(地区大会へ)
ソフトボール	優勝（地区大会へ）	福岡県大会	女子 個人形・個人組手 惜敗
バスケットボール男子	予選リーグ惜敗	空手道大会	出場 三浦 綾華
バスケットボール女子	優勝（地区大会へ）	筑後地区	1年女子 800m
卓球男子	団体戦・個人戦 惜敗	陸上競技大会	6位入賞 白石 莉乃（県大会へ）



【サッカー 船越グリーンコート】



【ソフトテニス女子 小郡市テニスコート】



【ソフトテニス男子 小郡市テニスコート】



【 ソフトボール 大原中学校 】



【 男子卓球 小郡市体育館 】



【 バレーボール うきはアリーナ 】



【バスケットボール女子・男子 大刀洗勤労者体育館】



【女子卓球 小郡市体育館 】

筑後地区大会及び福岡県大会（本校出場分のみ）の日程・会場

種 目	期 日	会 場
筑後地区大会		
水泳	7月 9日（水）	筑後広域公園プール
ソフトボール	7月13日（土）・14日（日）	久留米東部運動公園・田主丸多目的グラウンド
ソフトテニス	7月19日（土）・20日（日）	朝倉甘木テニスコート
バスケットボール	7月12日（土）・13日（日）	久留米アリーナ
ソフトボール	7月12日（土）・13日（日）	久留米市東部運動公園
柔道	7月12日（土）・13日（日）	久留米アリーナ畳敷き武道場
剣道	7月12日（土）・13日（日）	筑後広域公園体育館
福岡県大会		
陸上	7月27日（日）・28（月）	博多の森陸上競技場

性の健康と権利に関する講演会を実施しました。

6月26日（木）に、『性の健康と権利に関する教育』の生徒を対象とした講演会を持ちました。性暴力アドバイザーの方をお招きし、学年ごとに、講演会を実施しました。多感な時期にある生徒たちが、心身ともに健やかに成長していく上で非常に重要なテーマであり、各学年の発達段階に合わせた内容で、大変実りの多い時間となりました。今回の講演会では、「境界線」と「性的同意」を主軸に、性暴力について深く考える機会となりました。目に見えない自分と相手の間の「安心・安全が守られる空間」について、イラストや具体的なシチュエーションを交えながら説明をうけることで、自己理解と他者理解を深めるきっかけとなりました。性の境界線の中でも、特に大切なプライベートゾーン（体操服で隠れるところと口）について、なぜそこが大事なのかを理解してもらいました。性暴力がどのような行為を指すのか、また性暴力は性別に関係なく起こりうることを強調し、多様な視点から理解を促していただきました。「対等でない関係」や「無意識の思い込み」といった、性暴力が起こる背景にある社会的な要素にも触れ、生徒たちがより多角的に問題を捉え将来を見据え、より具体的な社会の現状や、性暴力の予防策についても踏み込んだ内容となりました。性暴力がなぜ起こるのかを深く掘り下げ、加害者にならないため被害にあわないための具体的な行動についても考えました。もし被害にあった場合、どのように自分を守りどこに相談すればよいのか、警察や医療機関との連携なども含めてより実践的な情報を提供していただきました。講演会を通して、生徒たちは性に関する正しい知識を身につけ、自らの心と体を守る意識を高めることができました。困ったときに「嫌だと言う」「逃げる」「大人に相談する」といった具体的な行動を選択できる力を育むことにも繋がったと感じています。今回の講演会で得た学びを、今後の学校生活だけでなく、社会に出てからも活かせるよう、学校としても引き続き性の健康と権利に関する教育を推進してまいります。ご家庭でも、この機会にお子様と性の健康や境界線について話し合っただけであれば幸いです。



【 講演会での3年生の様子 武道場 】